

1月29日(土) 10~12時
 不二見小 PTA 成人教育講座
 創造力と決断力を育てる
 「森の箱庭作り」
 @不二見生涯学習交流館
 工作室にて

10:00~30 第一部(親子10組19名)

11:00~30 第二部(親子8組16名)

- ・時間差で交流館にご来館いただきパーツ選定のみ実施
- ・自宅作業にて。
- ・後日作成画像を PTA 公式 LINE チャットへ送信。アンケート回収。

パーツ
 ウッドチップや苔

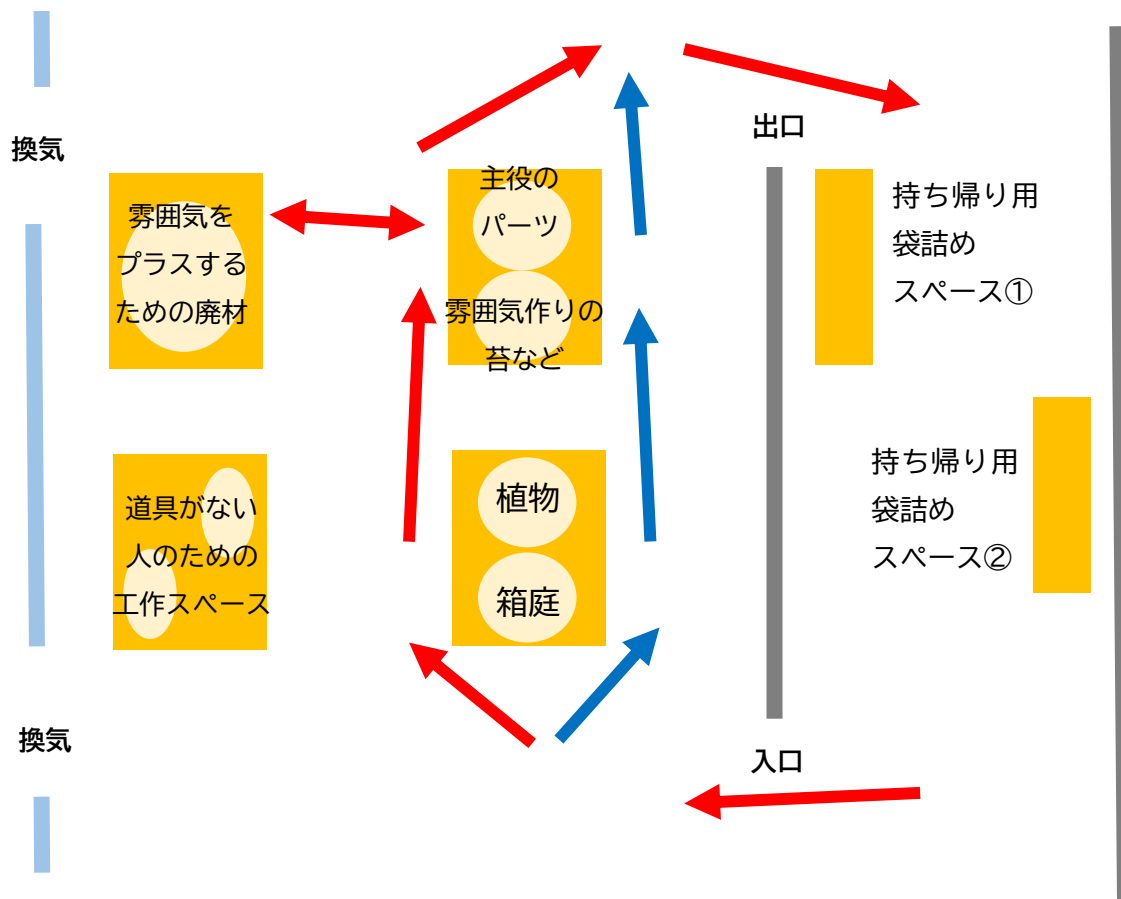
植物

箱庭



※選ぶ順番通りにテーブルに配置

事前に作り方のイメージ動画を視聴していただき、当日までのワクワク感を膨らませて待つ
 ていただくことで、精神的な健康効果もあったのではないかと思います。
 参加予定者全員、健康で参加いただけたことが大変うれしいことだと思いました。





◀箱選びから、雰囲気を作っていくものになる
植物、ウッドチップや苔を選びます。

自分でイメージした世界に登場するパーツを▶
「2つ」だけ選びます。
一番ここで立ち止まることになります。
ちなみに2つ以上選びたい方には追加料金で
対応しました。



◀小物パーツは手作り品が多く、身近なものをかわい
らしくアレンジする方法も教えていただきました。
ペットボトルのキャップとボタンがテーブルに
生まれ変わっていたり、枝を組み合わせではしごを
作ってあったり、どんぐり帽子がコップに変身♪

小物の制作過程で出た廃材も使ってほしい
という講師様の方針により、新しいイメージ▶
作りをする姿が多く見られました。
この場所が一番クリエイティブな発想が生み
出された場面のようにです。



◀1部2部制で来館していただいた空き時間を
使って役員さん（文化厚生委員会）には、
制作活動をしていただきました。

本来は、このようにみんなでワイワイと
作業したかったというのが現実です。

【講師】

静岡市葵区在住

森の箱庭®fortune（フォーチュン）

山内貴美

<https://fortune-hakoniwa.jimdofree.com/>

【参加者の声（保護者様目線）】

- ・子どもの創造力と決断力を目の当たりにでき感動！
- ・夢中になり没頭できた！
- ・生活の忙しさやイライラを忘れられる贅沢な時間でした！
- ・見守るということを経験できた！
- ・達成感を実感できあたたかい気持ちになった！
- ・子どもたちのその時の発想を形に残せた！
- ・成長のタイミングごとできると良いと思った！ など。

【主催者感想】

コロナ禍で、感染を防ぎながらどこまでできるのか。

刻一刻と変化する状況の中で、実施方法を2度変更しました。

応募開始は12月で応募の締め切りは年明け1月初旬。

思った以上のご応募があったので、2部制にすることでまずは密を回避。

年明け後の感染者増加をうけて発令したまん延防止措置。

このため、「なるべく密にならない」「短時間で」という発想に切り替え。（教頭にも相談）

「その場では作らない」

ただ、材料をセットして渡すだけの作成キットでは、物語を創造すること・その物語を展開していく要素を選ぶための決断力等を得られません。

ただのモノ作りではなく「成長を実感できるツールとしての森の箱庭」を体感してほしい

講師のこの森の箱庭に込めた思いなどを是非ともお伝えしたいという目的がありましたので、作っていく作業を簡単な動画にまとめ、作り方の手順書を用意。

1部 10時から30分間、2部 11時から30分間。

この時間の中で、使う材料を選びにきていただくという方法に切り替え。

不二見小PTAでは公式LINEにて、各個人への個別メッセージが可能になっておりますので、事前の動画配信や刻々と変化する状況などをご説明しながら当日までのドキドキ感を全員で共有できたことが大成功のカギではなかったかと感じました。

「中止にしないでいただきありがとうございます。」

そんな声をいただき、安堵いたしました。

コロナ禍とはいえ、全部をあきらめずに「安全・安心」を考慮して活動していくにはただの単年度の活動と捉えずに、「今できる生活の充実」を真剣に考えることが大事だと改めて感じました。

不二見小 PTA
文化厚生委員会 委員長 堀 美恵
PTA 事務 宮城島ひとみ

